

車椅子の有効利用

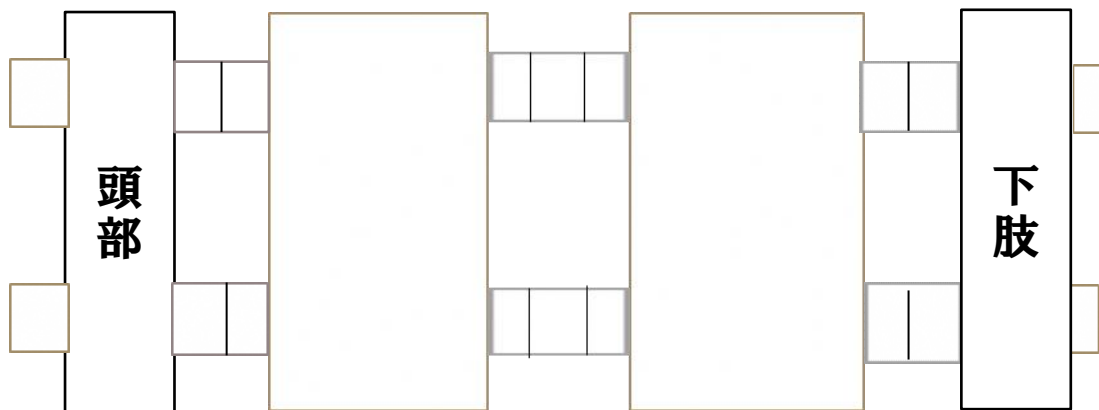
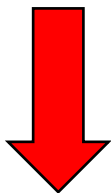
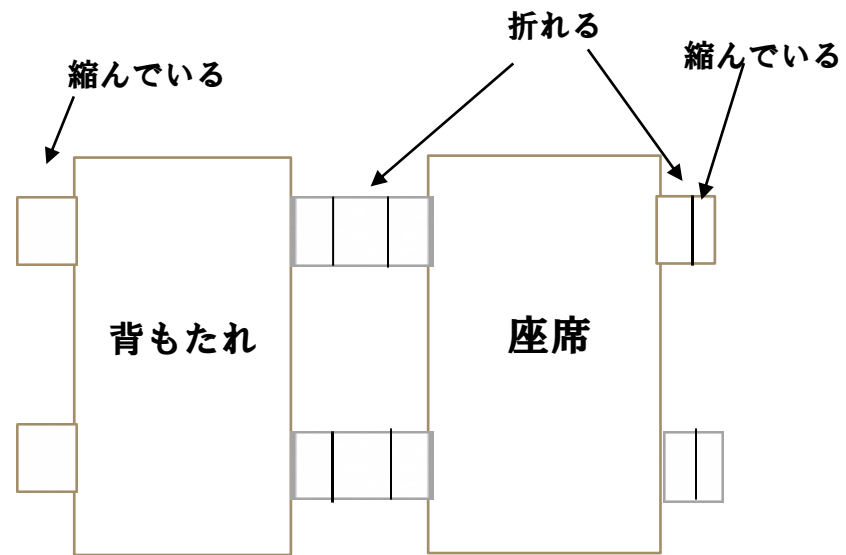
**車椅子利用時の急変時対応
簡易的な担架として利用**

既製品の車椅子で利用する場合

- 折りたたみ杖をイメージ
- 内部が全てゴムでつながっている
- 伸縮



構造



①車椅子装着時

装着時は頭部のシートとフレームは
収納しておく。
頭部シートは背もたれ部分に収納。
下肢シートは座席部分に収納。

②担架として使用时

担架として使用时はフレームを伸ばす。
シートを頭部と下肢に合わせる。
各フレームを接続後、回してロックする。

メリット

- 単体で使用可能
- 未使用時には小さく畳める
- 頭部・下肢部が伸縮構造なので各車椅子に対応可能

車椅子を製作する場合

- 脱着可能にする。（担架として利用する部分）
- 背もたれを倒せる様にする。
- 頭部のフレームは背もたれのフレームに収納できる様にする。（伸縮機能）
- 下肢のフレームは座席のフレームに収納（伸縮機能）